

# 市議会だより

新見市議会広報紙 3月定例会

若者議会を開催しました

2026年5月  
第33号

## 目次

- ② 特集「今を変え、未来を創るために！  
～初の若者議会開催～」
- ④ 各委員会報告
- ⑧ 議会モニター会議を開催  
議会モニターの追加委嘱  
6月定例会（予定）
- ⑨ 一般質問（代表質問・個人質問）
- ⑰ 賛否が分かれた議案等
- ⑱ 市民の声・編集後記



議会が変われば まちが変わる

# 今を変え、未来を創るために！

～初の「若者議会」開催～



3月7日(土)、新見市議会初となる、若者議会を開催しました。岡山県立新見高等学校、岡山県共生高等学校、岡山県健康の森学園支援学校高等部、新見公立大学の生徒・学生、総勢25名参加の下、若者の視点から本市の現状や課題に向き合い、若者議員として堂々と質問や提案をしてくれました。

新見市議会として、様々な若者の質問や提案に耳を傾け、魅力ある地域づくり、まちづくりに活かしていきたいと思えます。なお、今回の質問や提案は、議会内で十分検討し、政策提言を行うなど、しっかり対応していきます。



チーム：岡山県立新見高等学校A  
「災害対策の強化を！」



チーム：岡山県立新見高等学校B  
「見やすいホームページを提案！」



チーム：岡山県共生高等学校1年1組  
「にーみんポイント鉄道利用補助を！」



チーム：岡山県共生高等学校1年2組  
「市周辺部にも店舗を！」



チーム：岡山県健康の森学園  
支援学校高等部  
「就労環境整備と移動支援を！」



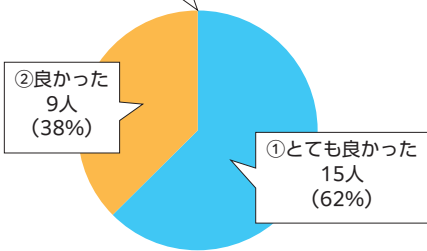
チーム：新見公立大学新見会 A  
「廃校舎の利活用を提案！」

## 若者議会のアンケート結果 (抜粋)

参加生徒、学生に聞きました。  
(集計：回答24名)

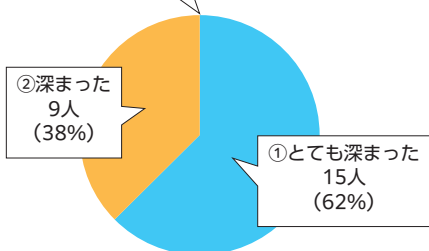
### 1 参加したことについて

- ③どちらでもない 0人(0%)
- ④あまり良くなかった 0人(0%)
- ⑤良くなかった 0人(0%)
- ⑥無回答 0人(0%)



### 2 市政市議会への関心や理解

- ③どちらでもない 0人(0%)
- ④あまり深まらなかった 0人(0%)
- ⑤深まらなかった 0人(0%)
- ⑥無回答 0人(0%)



### (感想)

- ・自ら登壇して色々な人に自分たちの意見を聞いてもらえ、とても貴重な体験でした。
- ・これからの新見に何が必要か、そして新見市の今後の課題について改めて考えようと思えた。
- ・議員の方々が親身に聞いてくださってとてもよかったです。



チーム：新見公立大学新見会 B  
「孤立しない福祉のまちづくりを提案！」



チーム：新見公立大学学生生活支援  
センターSA  
「公共交通利用促進策と空き家活用を！」



若者議会の  
ページはこちら

若者議会の報告書を  
ホームページに掲載  
しています。  
報告書には、若者議会  
の様子やアンケート結果、  
議事録を載せております。  
ぜひご覧ください。

# 各委員会報告

## 消防委員会 総務常任

林野火災警報発令  
時の火の使用には、  
罰則適用もあり

2月2日・19日、3月6日に本委員会を開催し、付託された条例5件、議案2件については、原案のとおり可決しました。質疑があった主な議案は次のとおりです。

### 付託事件の審査

#### 【議案の部】

●条例第4号 新見市火災予防条例の一部を改正する条例  
国の通知に基づき、火災予防上、危険な気象状況になった場合に、林野火災注意報及び林野火災警報を発令するものです。

#### 委員質問

警報の周知を告知放送で行う場合、いつの時点でを行うのか。

#### 答弁

あらかじめの降水量



操法大会の様子

を勘案して、気象庁の発令を受け、消防本部が午前8時半に発令する。

●条例第5号 新見市消防団に関する条例の一部を改正する条例  
現在、消防団員の定数の充足率は75%を下回っています。また、市町村総合組合への負担金も、実態に見合わない定数により支出しており、定数の見直しが必要と考えられ、条例定数を1200人から1000人に見直すものです。

委員質問 具体的にどのくらいの金額が削減されるのか。  
答弁 約430万円程度負担減となる。

●議案第2号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について  
花見辺地に係る計画については、いぶきの里スキー場のリフト主要部、主要部材の改修、交換及び圧雪車のオーバールールに6870万円。新見千屋温泉いぶきの里の合併浄化槽他、機械電気設備の改修に1220万円を増額するものです。

委員質問 辺地に係る事業実施の場合、国からの補助はあるのか。  
答弁 元利償還金の80%が交付税算入措置となる。

### 報告事項(1)

●新見市情報通信高度化事業の整備事業者の決定について  
令和8年度から10年度までの総合計画実施計画について、令和8年度機構改革についてなどが報告され、以下の質問がありました。

委員質問 機構改革による組織図が示されたが、主な事務内容が分かるような事務分掌表はいつ作成するのか。  
答弁 事務分掌規程で機構改革も含め、規則を改正後、早めに広報したい。

委員質問 産業部のうち、農業畜産も林業も振興、移住定住は推進という名称になっているが、観光も振興を入れてはどうか。  
答弁 今後見直しをする中で検討したい。

### 調査事項(1)

委員質問 市政施行20周年記念事業、HNK「新・BS日本の歌」の参加者526人のうち、市内参加者の人数は。また、申し込みができない、申し込みをしても当選しなかったという声を聴いたが、申し込みに対する意見はあったか。  
答弁 申し込み方法などの問い合わせの相談はあった。応募者数は、全体で2923組であり、当選者は約4分の1程度が市内の方でした。

新見高生の食品ロス低減でドギーバッグ導入陳情「趣旨採択」

3月9日に本委員会を開き、付託の14議案と陳情1件を審査しました。付託議案は執行部の説明を聴き、十分な質疑の結果、付託議案を原案のとおり可決しました。新見高校生からの陳情は、全会一致で趣旨採択としました。

付託事件の審査  
【議案の部】

このうち、条例第8号「新見市消費生活センター条例」は、市民の消費生活の安定と向上を目的に設置するもので、開設時間、業務、職員などを定めています。委員から設置場所、職員体制を尋ね、執行部は「市役所の窓口で受付、相談内容によりプライバシー保護を踏まえ、庁舎内の相談室で詳細な相談を受ける」「消費生活相談員の資格を持つ専門の相談員が常駐し、所管課

の所属長がセンター長、センターの事務を所属課の職員が担う」と答弁しました。

条例第9号「新見市国民健康保険条例の一部を改正する条例」は、「大幅な値上げは諸物価の高騰する中、大変な負担増を強いる値上げ条例」との反対討論があり、挙手採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決しました。

【請願・陳情の部】

新見高校生徒からの陳情第5号「ドギーバッグ導入についての陳情」は、生徒代表が陳情の趣旨を説明し、十分に質疑を行った結果、食品ロスの低減、環境への負荷軽減に配慮した市民生活、食品廃棄コストの削減、食材への敬意など、陳情内容や陳情者の思いは共感できるものの、「本市内の食品ロスの現状、飲食店等での対応状況など、調査研究の必要がある」との意見が多く、全会一致で「趣旨採択」としました。

\*ドギーバッグとは、飲食店で食べ残した料理を持ち帰るための容器のこと



（新見高校普通科2年生2名がグループを代表し、委員会で陳情の趣旨説明する様子。）

報告事項について

●学校教育課：児童生徒の長期欠席、不登校について

1月末現在、小学校の長期欠席児童は29人で、うち不登校は11人。中学校の長期欠席生徒は45人で、うち不登校は13人だった。昨年同期に比べ、小学校では長期欠席、不登校者数ともに多い。中学校の長期欠席者はやや多く、不登校者数はやや少ない状況にある。

調査事件について

委員問 地域運営組織の活動拠点の管理運営費を公平性の観点から見直す必要はないか。

答弁 地域運営組織の拠点の在り方については、地域によって指定管理料のあるところ、ないところがあるなど課題が多く、令和9年度実施に向け、8年度で全面的に見直し方向性を定めたい。

陳情第5号 「ドギーバッグ導入についての陳情」の内容

飲食店での食べ残しを削減することで、環境への負荷軽減と豊かな食文化を最後まで大切にする仕組みとして、下記の事項が実現されるよう陳情します。

- 1 新見市オリジナルドギーバッグを作成する
- 2 ドギーバッグ導入の協力店にステッカーを配布する
- 3 安全な運用のためのガイドラインを策定する

# 建設委員 産業常任

## 憩いとふれあいの 公園遊具リニュー アル完成

3月5日、10日に本委員会を開催し、条例第18号から第29号の12件及び議案第3号から第5号まで、及び第8号の4件を審査しました。執行部の説明を聴き、質疑の結果、付託議案を原案のとおり可決しました。

また、各担当課より報告事項がありました。

### 付託事件の審査

#### 【議案の部】

●条例第18号 新見市移住交流支援センター条例の一部を改正する条例

「このセンターは、地元の施設として任せてしまう方向性はあるのか」との質疑に対して、「今後は地元からの要望があれば対応したい。また、油野は無人になるので、駅前オフィスで対応したいと考えている」との答弁でした。

### 報告事項について

●農業畜産振興課：肥料・飼料等高騰対策支援金の交付状況について

肥料や農薬、飼料の高騰対策支援として12月補正予算で予算措置されています。最終交付見込み金額については、園芸作物農家分が104件で150万4千円、畜産農家分が53件で685万1千円となります。

●商工観光課：市内高等学校での「市内企業による進路学習会の実施」について

市内企業への関心を高め、市内就職への意識向上を図ることを目的として、3月4日に岡山県共生高等学校において、市内企業が参加し、企業自ら事業内容を説明する「進路学習会」を実施しました。

●農業委員会事務局：新見市農業委員会委員及び農地利用最適化推進委員の募集について

2月27日をもって募集を終了したとの報告がありました。農業委員会委員は、定数18名に対して20名の推薦がありま

した。農地利用最適化推進委員は、定員10名に対して10名の推薦がありました。農業委員会委員の定数超過については、4月以降に評価委員会(副市長、産業部長、農業畜産振興課長、農業委員会事務局長、総務課長)において選考して定員18名を選び、人事案件として議会の承認を得ることとなります。

### 調査事件について

●委員問 個人で取水している飲用水施設は市内に何戸あるのか。

### 予算決算 常任委員会

## 6・1%増の令和8年度当初予算を審査、可決

予算決算常任委員会を3月11日、12日に開催し、予算決算常任委員会に付託された16議案を審査しました。

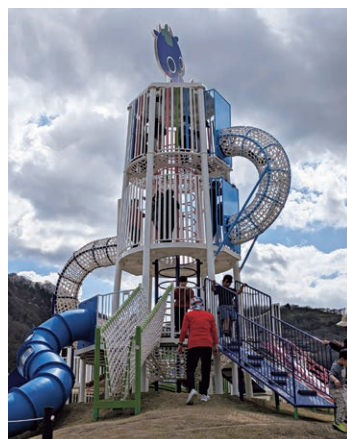
3月11日は、主として総額273億5900万円の令和8年度一般会計や特別会計について、3月12日は市長の専決処分した2月8日実施の衆議院議員選挙費や、令和7年度の補正予算について審査し

### るのか。

●答弁 調査していないので、わからない。

●委員問 現状を把握してはどうか。

●答弁 研究したい。



憩いとふれあいの公園の新遊具  
「にーみんタワー」

ました。また、最終日23日には、追加補正として「新見千屋温泉いぶきの里」の指定管理料3000万円の審査を行いました。原案のとおり可決しました。

令和8年度の当初予算については、一般会計、国民健康保険特別会計及び後期高齢者医療特別会計の3会計について反対討論がありました。放課後児童クラブの民間委託を

可能とする方針への反対、物価高騰の状況下の保険税及び保険料の増額改定反対が主な理由でしたが、審査の結果、賛成多数により原案のとおり可決しました。

なお、令和8年度当初予算については、様々な分野での厳しい状況の打開を目的とする40以上の新規事業が提案されました。

当初予算審査での主な質疑は、次のとおりです。

### 主な質疑

●予算第1号 令和8年度新見市一般会計予算

**委員問** 予算概要説明書によると、新見高校コーディネーター配置事業は、普通科の探求活動のみに関わるよう表記されているが、普通科に限定されるものか。他の学科にも広げての事業か。

**答弁** この事業は、普通科に限定したものではない。普通科以外の学科も探求活動を行っている、例えば商品開発等、様々な面でコーディネーターの支援を実施していきたい。

**委員問** 結婚推進協議会負担金の事業内容と成果を求める。

**答弁** オンライン縁結び事業の補助、カップリングパーティーや結婚相談会等、出合いのサポート事業を実施している。6年度は成婚に至ったのは3件である。

**委員問** 駅前に整備される全世代交流型施設設置事業の目的や場所の選定について説明を求める。

**答弁** 地域共生社会「新見モデル」の構築を推進するため、新見駅前という好立地に子どもや高齢者、また公立大生など、世代を超えて交流できることを目的にした事業である。西エリアもあるが、将来、子ども食堂や地域食堂の運営も想定されるので、調理施設の関係で選定した。

**委員問** 保護者負担を解消するため、放課後児童クラブの運営を民間企業に委託する事業のスケジュールはどう考えているか。また、継続を希望される現スタッフの雇用はどうなるか。

**答弁** まず各クラブへの説

明会を実施。8月に業者を募集。9月に条件を検討してプロポーザルを実施。その後事業者によるクラブへの説明を

## 行政視察報告

## 議会運営委員会

令和8年1月20日から21日にかけて、兵庫県の稲美町と養父市を視察しました。

### 稲美町の議員定数の状況

稲美町では、人口減少や議会運営の効率化を背景に議員定数の見直しが行われ、16人から14人へ削減されました。これに伴い常任委員会も再編され、体制の簡素化が図られています。一方で、議員が人口集中地域に偏り、地域によっては議員不在となる課題も生じており、定数削減と地域代表性のバランスの重要性が示されました。本市議会においても、市民との対話を重ねながら慎重な検討が必要であると感じました。

### 養父市の議会モニター制度

養父市では、議会と市民をつなぐ取組として「議会モニター制度」が導入されています。

経て、令和9年1月より運営を開始したい。なお、雇用を引き続き希望される支援員等は継続できるよう考えている。

す。市民が議会を傍聴し意見を提出するほか、議員との意見交換を通じて議会運営への提言を行う仕組みで、議会への理解促進と信頼構築に大きく寄与しています。中にはモニター経験を経て議員となる方もおられ、なり手不足対策としての効果も見られました。今回の視察を通じ、議会改革には制度の工夫だけでなく、市民参加を継続的に進める姿勢が不可欠であることを学びました。本市議会でも、開かれた議会を目指し、より信頼される議会運営に取り組みでまいります。



兵庫県養父市視察の様子

## 議会モニター会議を開催

令和8年1月15日に議会モニター4名と議員全員で意見交換会（議会モニター会議）を行いました。



会議では、議会活動の改善案の提案や議会傍聴の環境改善、議会の敷居の高さといった課題について、さまざまな意見が出されました。  
また、議会報告会・意見交換会については、「議員から直接意見を聞ける場があることは良い」との評価の声もありました。

## 「議会モニター」新たに4人委嘱 8人体制に

新見市議会は、新たに「議会モニター」4人を委嘱しました。モニターは、議会運営や議会広報活動に意見提案を行うなど、開かれた議会を目指す取組で、昨年10月に4人を委嘱し、追加募集していました。藤澤正則議長が一人ひとりに委嘱状を手渡し、「議会が市民により身近になるよう、率直な意見提言を聞かせてください」とあいさつしました。任期は来年3月末までの1年間です。



- 多飯 皓成さん（哲西町上神代）：「多くの市民に市政、議会に興味関心を持ってもらえるよう活動したい」
- 小倉 俊揮さん（上市）：「議会傍聴した。良くやっているが、更に市民生活に身近な議論を期待したい」
- 中嶋 和昭さん（哲多町大野）：「人口増と商業活性化に関心を持っており、活発な議論と提案を聴きたい」
- 吉田 友治さん（哲多町花木）：「モニター制度に共感した。市民が新見を好きになる活動、施策を望みたい」

3日	2日	7月1日	30日	29日	26日	25日	24日	23日	22日	19日	18日	6月12日
(金)	(木)	(水)	(火)	(月)	(金)	(木)	(水)	(火)	(月)	(金)	(木)	(金)
本会議 閉会	議会運営委員会	委員会（予備日）	議会広報特別委員会	JRローカル線利用促進・ 存続問題検討特別委員会 議会改革特別委員会	予算決算常任委員会	産業建設常任委員会	文教福祉常任委員会	総務消防常任委員会	本会議（予備日）	本会議・一般質問	本会議・一般質問	本会議 開会

6月定例会（予定）

3月  
定例会

# 一般質問



(議員紹介)

## 代表質問

無所属みんなのいみ

ふるかわ ひであき  
古川 英明



### 石田市政の施政方針質す

**問** どうなる今後の地域運営組織  
**問** 地域運営組織の共通的な課題は何か。また、規模の在り方や将来に向けての継続性について、市としてどのように考えるか。

**答** 共助の意識が浸透していないことによる当事者意識の低さや高齢化などによる役員の固定化、活動の担い手不足等が課題だ。今後の継続にあ

たっては、様々な課題も生じていることから、令和9年度から組織の規模や一括交付金制度等、全体的に見直す必要があると考える。

**問** 新見高校支援と今後の方向性  
**問** 進学率が厳しい中、令和8年度の新見高校への支援策はどうしていくのか。また、新見高校の将来に向けての方向性をどう考えているか。

**答** 厳しい状況ではあるが、現行の支援（資格取得助成、部活動専門人材派遣、留学支援、学校連携コーデイナータの配置）に加え、新たに新見高校へ常設のコーデイナーを配置して更なる魅力化を図る。進学率向上を目指すとともに、高校と地域や企業をつなげ、本市で活躍する人材を育成したい。市としても地域に貢献できる学校づくりを全力で支援していきたい。

**問** 公共交通体系の最適化を目指す  
**問** 現状の地域公共交通の在り方と住民意識のギャップをどう考えるか。また、今後の地域公共交通の在り方についてどう考えるか。

**答** タクシー利用助成券は地域ごとに差を付けるのは困難。乗合タクシーの下車場所については、今後検討。「らくくるっと」は、現時点での運行範囲見直しは考えていない。全ての市民が納得できる公共交通の構築は容易ではないが、引き続き市民の声に真摯に耳を傾け、最適な交通体系にアップデートしていきたい。

**問** 3病院統合の日程と周辺整備  
**問** 市内3病院の統合計画や周辺部との一体的な整備を市として、どのように支援するのか。また、今後のスケジュールはどう考えているか。

**答** 市内4病院は、貴重な医療資源であり、健康福祉のまちづくりの核となる施設である。新病院の建設にあたっては、現時点では具体的な建設場所や面積等は確定していな

いが、立地適正化計画に基づき市民にとって利便性の高い場所にしてもらうよう協議を進めている。令和12年度頃の開設を目指し、来年度前半には、エリア開発計画を発表したい。

**問** 金谷土地区画事業 時代に合わせる

**問** 急激な人口減少で金谷土地区画整理事業の柔軟な変更（住宅建築戸数など）もありえるのか。

**答** 現在、地権者の土地利用の意向を踏まえ、土地の配置や用途を検討している。状況や将来の土地利用を検討する中で、計画も変更していきたい。



区画整理事業の対象となる金谷地区の風景



### 小学生夢作文と本市施策間

**問** 夢作文を読んで市長の受け止めと感想は。

**答** 小学6年生の作文に触れ、ふるさと新見の将来を真剣に考える思いに心を打たれた。コストコやIKEAなど大型商業施設の誘致という発想についても、本市の高速道路網などの強みを踏まえた柔軟な意見であると考えられる。

**問** 元気がいっぱいに輝くまちづくりへのビジョンは。

**答** 市としては、自然や観光資源の磨き上げ、子育てや教育環境の充実、企業誘致や雇用創出、移住定住支援などを進めるとともに、若者の要望

が多い飲食店やファストフード店などの誘致を進め、新たに産業施設出店支援事業に取り組みたい。

**「共に生きる優しいまちづくり」の道筋質す**

**問** 地域包括ケアと共生社会の実現性は。

**答** 「新見市地域共生社会推進本部」を設置し、分野の枠を超えた連携の強化を図り、持続可能な取組となるよう協議を進めている。

**問** 大学連携の実効性及びリイブルメント導入の効果と目標は。

**答** 新見公立大学や社会福祉協議会、医療福祉関係者などが参加する「新見市地域共生社会推進本部」を設置し、分野を超えた連携を進めている。要介護状態になる前の高齢者の生活機能回復を目指すリイブルメントの取組や大学との連携、健康づくり施策、まちづくり事業の見直しなどを進める。

### 少子化解消へ安心子育て支援

**問** 少子化解消に向けた取組は。

**答** 出生祝金の拡充や結婚支援、子育て環境の整備などを総合的に進め、子育て世帯が希望する家族形成を実現できる環境づくりを進める。学校給食費の完全無償化、子育てアプリの機能拡充、放課後児童クラブの民間委託、新見高校へのコーデイネーター配置などにより、安心して子育てできる環境づくりを進めたい。



### 新見駅バリアフリー令和11年度末の完成目指す

**問** 新見駅バリアフリー化の具体的内容は。

**答** 新見駅のバリアフリー化として南北自由通路とエレベーターの設置を計画し、令和11年度末の完成を目指す。

**問** 公共交通やインフラ整備、防犯や情報通信基盤の考えは。

**答** 公共交通の維持、交通空白地対策、学校体育館の空調整備、消防体制の検証、インフラ老朽化対策、光ファイバー網の民設民営化、防犯や消費者保護体制の強化などを進める方針である。

### 産業施設出店の支援事業始める

**問** 新規就農者と担い手不足解消の数値目標と戦略は。

**答** 新規就農者を年間8人確保する目標のもと、農業支援を進めるほか、千屋牛の生産拡大と飲食店誘致、鳥獣被害対策、林業振興に取り組む。また、産業施設出店支援事業により地域ブランドの向上や観光消費額の増加を図り、観光地経営戦略会議を設置して官民一体の観光振興を進めたい。

# 個人質問

無所属

あかぎみつお  
赤木三郎



## わがまちの介護事業基盤どう守る

**問** 市内の特別養護老人ホームの施設数と入所定員はどうなっているか。また、従来型特別養護老人ホームの施設数や所有形態、修繕費に対する市費の関わり方について、市はどのように認識しているのか。

**答** 市内の特別養護老人ホームは5施設で、入所定員は合計370人である。うち従来型特別養護老人ホームは2施設で、公設民営と民設民営がそれぞれ1施設ずつとなって

いる。修繕費について、民設民営施設は法人負担が原則であり、公設民営施設は指定管理の基本協定に基づき、双方の負担で実施している。市民サービスの観点では入所施設を自由に選択できることから公平であると考えている。

**問** 従来型特別養護老人ホームは建物や設備の老朽化が進み、今後修繕費の負担が大きくなると考える。また施設入所者の食費の基準費用額は1日1445円とされているが、これは数年間見直されておらず、この中で人件費や光熱水費、食材費を賄う必要があり現場の負担は大きい。市独自の支援制度を検討すべきではないか。

**答** 施設運営に対しては物価高騰対策として支援金を給付している。修繕費については施設を所有する法人の負担が原則であり、国や県の支援制度の活用について情報提供や申請支援を行っている。今後国や県の動向を注視しながら必要な支援の在り方を検討していく。

## 訪問介護の現状はどうか

**問** 事業所数や利用者数の推移、また中山間地域では移動距離が長く燃料費の負担も大きいことから、移動経費への支援など実情に応じた対策が必要ではないか。

**答** 市内の訪問介護事業所は現在5事業所で、令和5年度と7年度にそれぞれ1事業所が廃止され減少している。利

用者数は令和4年度2035人、6年度1712人である。訪問介護は在宅生活を支える重要なサービスであり、

国や県の動向も踏まえ支援について調査研究していく。



無所属 志政会  
はしもとなおゆき  
橋本尚典



## モンベルと連携「アウトドアのまち」へ

**問** 令和8年2月10日に新見市はモンベルとの包括連携協定を締結した。新見市は豊かな自然を有しており、この環境を子供たちの学び場や関係

人口を創出する場として活かしていくために、包括連携(単一な事業だけでなく複数分野にまたがる連携)を単なる観光政策に留めず、活用する必要があると考えている。今回モンベルとの包括連携協定を締結した目的と今後重点的に取り組む分野をどのように考えているか。

**答** アウトドア活動の促進を通じたシティプロモーションを進め、地域活性化や関係人口の増加、市民の健康増進につなげることを目的としている。まずは観光振興の分野から取り組み、モンベルクラブ会員などアウトドア愛好者の

誘客を図り、地域経済の活性化を目指す。

**問** 具体的な取組としてどのような事業を予定しているか。

**答** 来年度はサイクリングやトレッキングなどを楽しみながら地域の自然や文化を体験する「ジャパンエコトラック事業」に取り組み、アウトドア観光を推進していく。

**問** 協定の内容は観光、防災、教育など幅広い分野に及ぶが、庁内の推進体制はどのように進めるのか。

**答** 具体的な施策は各部局で進めるが、モンベルとの窓口は総務部が担う。今後、施策の検討の中で部局横断的な連携も検討していく。



(株)モンベルとの包括連携協定締結の様子

**問** 子どもたちの生き抜く力を育てる観点から、学校教育でアウトドア体験を実施する考えはあるか。

**答** 学校の教育課程や教員の負担などの課題があり、学校行事としての実施は困難と考えている。ただし、地域活動などでの活用は期待している。

無所属みんなのにいみ  
なかだよしと  
**仲田 芳人**  




### 中学校に同窓会創設を呼びかける

**問** 生徒数が減少する中、地域や卒業生で母校を応援するため、中学校に同窓会設立を誘導してはどうか。

**答** 同窓会は任意団体なので、行政主導するものではないが、母校を支える組織のひとつとして、校長会やPTAに創設を呼びかけることはできる。

**問** 市内中学校のホームページには学校の歴史、沿革の掲

載がないが、「同窓会の部屋」を作り、思い出の品々とともに沿革を載せてはどうか。

**答** 沿革等の掲載は可能だ。

### 人口減の要因は出生数の減少

**問** なぜ本市の人口は増えないのか。人口動態の分析を聞きたい。

**答** 20年間の人口動態を見ると、社会減より自然減、特に出生数の減少が大きな要因と見ている。そのため、出生数減少を抑制するため、産み育てやすい生活環境整備、自己実現できる多様な雇用の場の創出が必要と考えている。

### 移住増へ地域との繋がり、多様な雇用、情報発信

**問** 移住者が増えない原因分析と今後の対策は。

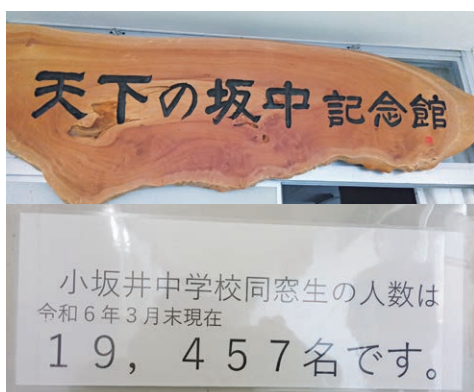
**答** ここ数年の移住数は微増横ばいにある。分析のプラス要因は、移住定住奨励事業、子育て世代向け施策充実があり、マイナス要因は、移住交流支援センターと地域の繋がりが希薄で市街地から離れて

いる、シティブロモーションがイベント頼りになっていることがある。

**問** 地域との繋がり、地域ごとの移住相談員制度を再度提案したい。

**答** 本市に縁ある人に「ふるさと市民」になってもらい、周囲の人々に本市の魅力発信を願うことで、来訪や居住に繋げたい。移住相談員制度はよく理解でき、状況を見て必要な体制変更を考えたい。

\*この他、昨年6月提案の羅生門のサクラ開花情報がNHK等「花だより」に掲載されるとの答弁があった。新見千屋温泉レジオネラ菌検出責任と再発防止策も質した。



小坂井中学校同窓生の人数は  
令和6年3月末現在  
**19,457名**です。

愛知県豊川市立小坂井中学校の  
同窓会の部屋



### 高すぎる国民健康保険税の引き下げを

**問** 国保への国庫負担を減らし続け、保険税の負担が限界になっている。このため、全国知事会・全国市長会・全国町村会などは国庫負担の引き上げを政府に要望し続けているが、国の動向は。

**答** 負担軽減を図るよう継続的に行っているが、国庫負担割合の引き上げ方針は示されていない。

**問** 引き続き構造問題の解決に向け、政府に強く要望してほしい。

**答** 意思疎通を図っていきたいと考えている。

**問** 一般会計からの繰り入れ

で負担軽減を図るよう県に強く意見を上げてほしい。

**答** 他の医療保険加入者との公平性の観点から繰り入れ措置を求めることは考えていないが、保険事業の積極的な取組で保険給付費の抑制など運営主体の県にリーダーシップを発揮してもらおうよう働きかけていく。

**問** 平成27年衆院厚労委員会では一般会計からの繰り入れは「それぞれの自治体での判断で、これを制度により禁止することは考えていない」と答弁している。政策判断で国保税の引き下げは可能では。

**答** 完全統一が早ければ令和15年、遅くとも18年で一人当たり年3万4千円の乖離があり、できるだけ保険税が上がらないよう県との協議を進めていきたいと考えている。

### 特別職等報酬審議会の開催

**問** 報酬審議会はどうなっているか

**答** 平成22年を最後に開催していない。

**問** 議員も特別職に該当するが、議員だけで報酬額や政務活動費を増額改定しているのは問題ではないか。

**答** 議会基本条例において議員が提案すると規定されている。審議会での意見聴取が必要な場合は議会からの要請が



### 地域展開でどうなる中学校部活

**問** 地域展開について、国・県の方針や移行期日が次々と変わったのはなぜか。

**答** 地域格差や急激な少子化、教員の働き方改革の推進など、社会状況の変化に影響されたものであると推測される。

あるものと認識している。  
**問** 市内の経済状況や市民生活の状況に目を向け適当な時期に報酬審議会を開き検討を。  
**答** 長い年月が経っているので一度声を聴くことも重要かと思う。時期をとらえて開いてみたい。

**問** 新見ジュニア剣道クラブの活動状況は。

**答** 週2回、市内の3中学校から8人が参加し、剣道連盟が指導を行っている。課題は、送迎の負担、指導者確保、運営財源などである。

**問** 中学校部活動の地域展開の今後の方針は。

**答** 休日の部活動は令和10年度、平日の部活動は13年度を目途に廃止予定。受け皿になる団体の確保を推進していく。競技力向上よりは、広く参加できる形態を想定している。

### 上水道広域への包括委託考えない

**問** 水道管の延長と管路の維持の状況は。

**答** 本市の水道管路の延長は、

702 km。このうち耐用年数40年超の管路が、196 km。管路更新は年間1.5 km。更新の優先順位を決め、ダウンサイジングも進めながら経費の節減を図っている。

**問** 今後、単独の事業経営が厳しくなると考えるが、広域連携や包括委託の検討は。

**答** 広域連携は、岡山県水道事業広域連携推進検討会により検討している。包括委託は、現段階では考えていない。

### 情報インフラ整備と観光戦略策定へ

**問** 本市の防災への考えは。

**答** 孤立集落発生時の対応として、臨時ヘリポート整備、自主防災組織などによる避難所運営の体制整備に努める。

**問** 人口減少対策の考えは。

**答** 自然減が課題。本市の弱みを克服し、強みをPRしていく必要がある。

**問** 本市のこれからの方向性は。

**答** 高速通信などの基盤整備を行う。観光の整備が充実すれば、交流人口が増え、経済

効果を生むと考えられるので、まずは、訪れる人の心に響く観光戦略を推し進めていく。



主要観光地の満奇洞

無所属  
たわだ 一也  
かずや



わがまちの農業を守る取組を聞く

**問** 全国的に農業従事者や耕作農地の減少が続いているが新見市の農業の現状はどんな

っているか。

**答** 「基幹的農業従事者数」は令和2年度1616人、7年度1268人で348人減少している。耕地面積は2年度3040畝、6年度2920畝で120畝減少している。国の中山間地域等直接支払制度においても6年度から7年度にかけて交付対象面積では約120畝、交付金額にして約1439万円それぞれ減少している。当市の主食米の自給率は、本市全体の消費数量と市内のJA出荷量の割合から、3年度が183%、7年度が175%で8%低下している。農地に占める荒廃遊休農地の割合は2年度が881畝、6年度が975畝で94畝の増加がみられる。

**問** 農業委員会は毎年農地パトロールを行っているが、その目的は何であるか。

**答** 市内の全農地を巡回し調査する活動であり、その主な目的は①地域農地の確認、②違反転用の早期発見と防止、③遊休農地の実態把握である。利用状況調査を行い、農地利

用の適正化を図っている。

**問** 本市の農業を守るためにどのような対策を行っているか。

**答** 国の「中山間地域等直接支払交付金」や本市独自の①ドローン操作に必要な講習受講費用の助成、②スマート農業機器（直進トラクター・ラジコン草刈り機・農業用ドローン等）の購入費助成をする「スマート農業推進事業補助金」により農民生産の維持を支援している。

**問** 主要米生産農家に対して新見市独自の「農業支援制度の創設」への考えはあるか。

**答** 米価の動向や国の政策、今後の市場環境などを見極めながら自治体独自の支援の必要性を慎重に判断したい。



稲のはで干しによる乾操作業の様子

無所属

谷本浩章



### 病児・病後児保育の無償化検討へ

**問** 病児・病後児保育事業について、現在市内で本事業を実施している施設数と1日の受入定員数は。

**答** 3施設あり、各施設とも1日当たり4人である。

**問** 利用実績（延べ人数）の推移はどうか。

**答** 令和2年度45人、3年度71人、4年度66人、5年度59人、6年度108人である。

**問** 施設数や定員数を増やしていく考えはないか。

**答** 利用者のニーズを把握する必要がある。また、施設スタッフの確保や場所、部屋のことでもあるので調査研究し

ていきたい。

**問** 利用負担額が利用者世帯にどのような影響を与えているか。

**答** 利用日数や利用人数によって経済的負担が大きくなる

**問** 利用料金の完全無償化に踏み切る考えはないか。

**答** 他自治体の状況を調査しながら検討していく。

**問** 市民に寄り添う窓口業務のあり方について、市役所窓口におけるアクリル板等の設置状況はどうか。

**答** 5類移行後、庁舎全体の統一的な基準はなく、各所属の判断による。現在設置しているのは、本庁舎1階市民課、福祉課、子育て支援課、高齢化支援課など、窓口業務の多い部署に設置している。

**問** 高齢者や耳の不自由な方から「声が聞こえにくい」など、不便を訴える声は届いていないか。

**答** 直接は届いていないが、必要に応じて来庁者に不便をかけないよう職員が適切な対応を行っている。

**問** 新型コロナウイルス感染症の5類移行から時間が経過した現在、市民課のアクリル板撤去を進める考えはないか。

**答** 来庁者の利便性や意思疎通に配慮する必要があるため、早急に撤去する。

**問** 騒音下でも声がクリアに聞こえる「卓上型対話支援スピーカー」導入を進める考えはないか。

**答** 騒音下でも声がクリアに聞こえる「卓上型対話支援スピーカー」導入を進める考えはない。

**答** 聞き取りにくい場合は聞こえにくさを補助するイヤホンを用意している。



公明党

木下智義



### 耐震改修補助もつと周知徹底を

**問** 第3次新見市総合計画で

木造住宅・耐震性の低い住宅は33%存在とあるが、現在は

**答** 総務省の「令和5年住宅・土地統計調査」を基に国の推

計手法で算出した令和6年度末の推計値で約28%である。

**問** 木造住宅の耐震診断や耐震改修の支援制度は。

**答** 昭和56年5月末以前に建設された2階建て以下の木造住宅が対象。助成額は延べ面積で異なる。例えば、延べ面積200㎡以内の住宅では、耐震診断費用9万円のうち8万円を助成している。

耐震改修の補助は費用の5分の4以内（上限100万円）、部分改修は費用2分の1以内（上限40万円）、耐震シェルター設置は費用2分の1以内（上限20万円）、防災ベッド設置は費用2分の1

以内（上限10万円）。さらに、高齢者等世帯は、各設置費用5分の4以内で助成（上限額は同じ）。

**問** 令和4年から6年の耐震診断は11件で耐震改修工事はなかったが、7年の実績はどうなっているか。

**答** 相談はあったが実績なし。  
**問** 令和7年度は、どのように耐震化を周知しているか。

**答** 市ホームページや市報にのみ（5月、10月号）に掲載。また、固定資産税納付書にリーフレットを同封している。

**問** 耐震化支援が令和8年度から拡充するが、内容は。

**答** 耐震改修は補助上限を100万円から115万円に引き上げ。部分改修、耐震シェルター設置、防災ベッドは補助上限を全て80万円に増額。  
**問** 2次災害を未然に防ぐため、住宅用防災機器と感震ブリーカーをペアで補助対象とするのはどうか。



**答** 日常生活において自らの判断のできる防災対策であるので、自助として、各家庭で取り組んでほしい。消防とも連携して普及啓発に努めたい。

無所属 志政会

堀江裕



大型事業集中による財政への影響聞く

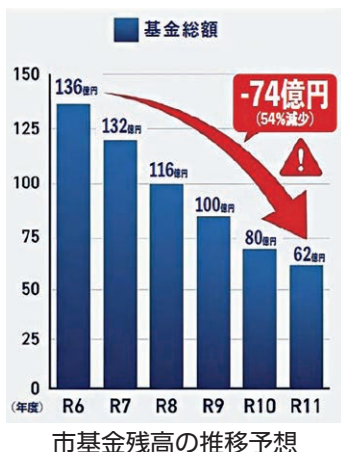
**問** 市内3病院の統合再編に対する市の関与の考えは。

**答** 効率的な医療提供体制の確保は大きな懸案事項であり、市としても地域医療を守るために支援していく。具体的にはへき地医療を担っている渡辺病院との機能分化や医療人材確保、用地確保を想定している。小児・周産期医療や健診などの予防医療も支援して

いきたい。開設場所は駅前エリアを第一候補と考えている。新見駅南北通路の整備に加え、再開発にあたって、新見駅周辺みらいプロジェクト構想も踏まえ実現できるよう取り組みたい。

**問** 今後の大型事業集中期と将来負担の見通しは。

**答** 金谷土地地区画整理事業や新見駅バリアフリー化事業、情報通高度化事業など総額約215億円程度が予想され、そのうち約100億円が市の負担額と予定している。今後、も国や県と連携強化を図り、市の負担軽減に努めて、年度事業平準化を計りながら執行していく。将来一時的に基金残高が減少するが、財政調整基金の最低限必要額50億円程度の確保を想定している。



**問** 基金運用の高度化による将来負担軽減の考えは。

**答** 現在本市では約128億円を国債と定期預金で運用している。令和6年度の運用益は約853万円であった。公金の確実な運用を図るため新見市公金運用会議を設置し、運用方法を検討している。資金運用戦略の策定までは考えていないが、一般財源確保の重要性は認識しており、先進事例を参考に有利な運用を目指していきたい。

無所属

岡崎裕生



「Live119」と「NET119」導入目指す

**問** 現状のヘリコプター離着陸場数と過去3年間の稼働状

況、離着陸の課題は。

**答** ドクターヘリの離着陸場は31カ所ある。搬送件数は、令和5年度48件、6年度61件、7年度58件である。真砂土のグラウンドでは、離発着時に強烈な気流で小石や砂を巻き上げることが課題である。

**問** 今後のヘリコプター離着陸場のアスファルト舗装に整備する方針と具体的な計画は。

**答** 西方地区にアスファルトの離着陸を整備している。孤立集落への対応を含め、廃校や公共施設の跡地を候補に引き続き整備を進めていきたい。

**問** 緊急通報者が携帯のカメラでやり取りができる「Live119」や、聴覚・言語機能障害がある人が円滑に通報できる「NET119」を導入してはどうか。

**答** どちらも、令和10年度のシステム更新に合わせた導入を目指して調査研究をしたい。

**問** 市が開設・運営する「基幹避難所」と、地域住民が自主的に開設する避難所を含めた緊急に命を守るための「緊急指定避難所」とでは、避難

所の機能が異なる。機能別に再分類し示すことはできないか。

**答** 113カ所の指定避難所については市が開設することを前提にして指定している。機能別への再分類は考えていないが、災害の度合いに応じ、開設の優先順位をあらかじめ決めて対応したい。



新消防庁舎の通信司令室の様子

**投票所と掲示場見直し「慎重に」**

**問** 第51回衆議院議員総選挙の当日投票について、入場者が少なかった投票所の状況は。

**答** 投票率が低かった投票所は、441人中30人(6.8%)や248人中17人(6.9%)

などがある。

**問** 人口減少に伴い、掲示場と投票所の設置数の見直しが必要ではないか。

**答** これまで何度か見直しを行ってきた。投票者の公平性に鑑み、慎重に調査研究していく。

●賛否が分かれた議案等

種類	件名	付託先	結果	議員名														
				赤木三郎	橋本尚典	堀江裕	谷本浩章	木下智義	林司朗	峠田一也	仲田芳人	古川英明	宮本英基	小河俊文	津島大孝	橋本亨子	岡崎裕生	
条例	新見市特定の事務を取り扱う郵便局の指定に伴う関係条例の整理に関する条例	総務消防	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
条例	新見市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	文教福祉	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
予算	令和8年度新見市一般会計予算	予算決算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
予算	令和8年度新見市国民健康保険特別会計予算	予算決算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
予算	令和8年度新見市後期高齢者医療特別会計予算	予算決算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

※「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席。議長は採決に加わりません。

その他の議案については、全会一致で可決、承認、同意しました。審議した議案については、右の二次元コードからご覧ください。



# 市民の声

みなさん、こんにちは。「市民の声」コーナーです。担当の橋本亨子が皆様の元に出向き、インタビュー形式でご意見ご要望等を伺いました。今回は、40代から80代まで幅広い年代の男女からお話を聞きました。

## ■「議会だより」の感想は？

- ・市の施策への意見では、批判的な意見の発言は出ていないのでしょうか。どんな意見があったか知りたい。特に委員会で採決の時に賛成、反対が出れば議論の内容を載せて欲しい。「○」「×」だけでは内容がわからない。【70代（男性）】
- ・一般質問の中で、答弁に「検討します」と書いてあることがあるが、どのように検討したのか結果が知りたい。【80代（女性）】
- ・議会だよりの紙質が良すぎると思う。紙質は下げて経費を削減したらよいと思う。【70代（女性）】
- ・特集は写真が多く使われており、興味をもって見れました。今後も特集を設けてほしいです。【40代（男性）】

## ■ 市政・議会への要望は？

- ・ケーブルテレビで若者議会の様子を見たがとても良かった。若い人たちの意見を聞き、取り入れてもらえれば新見市も変わっていくのではないかと期待している。【50代（女性）】
- ・スポーツ少年団で市民体育館を使っているが、施設の状態があまり良くない。夏の暑さ対策としてクーラーの設置を急いでほしい。【40代（男性）】
- ・市役所本庁舎から市道へ出るとき、右手側に植え込みがあり見通しが悪いので危険を感じる。改善してほしい。【70代（女性）】

## ご意見・ご提案は

新見市議会事務局内  
議会広報紙編集係

〒718-8501  
新見市新見310-3  
電話 0867-72-6151  
FAX 0867-72-6183



メール  
gikai@city.niimi.lg.jp

編集後記

新緑が目には鮮やかな季節となりました。2026年「新見市議会だより」第33号をお届けいたします。

本号では、一般質問・委員会報告、また特集として新見市議会初の若者議会開催の様子と議会モニターの活動と委嘱を掲載しております。議会として皆さまの声を大切にしながら、よりよい新見市の実現に向けて生活に直結する課題や政策について、真摯に議論を重ねてまいります。

今後も市民の皆さまに分かりやすい議会情報の発信に努めてまいります。

(木下 智義)